

審議項目	主な意見	対応
森としての 庁舎の基本理念	・新庁舎を災害対応拠点として整備するならば、基本理念の「まもる」は、「災害に柔軟に対応」などの表現にしてはどうか。	・表現を整理します。
	・基本理念の「多様な場所」は、そこで「学びや体験など多様な機会」が生まれることを示す表現がよい。	・表現を整理します。
執務環境	・ジェンダーレストイレの導入も検討が必要では。	・基本設計段階で、性的マイノリティの方などにもご意見を聞きながら導入を検討します。
議会機能	・議会機能を最上部に配置すべきなのか。	・本会議場は二層吹き抜けの空間を想定しており、構造上の負担等から最上部配置が効率的と整理しています。
	・議会図書室も含め、もっと市民に開かれたものであるべきではないか。	・議会図書室も含め、議会が市民に開かれた施設となるよう配置や屋上庭園との連携を検討しています。
	・議会機能に対する分科会での意見をどのように伝え、どう検討されるかが見えない。	・分科会でのご意見は議会に報告しました。
環境性能・ 長寿命化	・CO2 排出抑制は、建物だけでなく、そこで行われる事業活動での対応も考慮した方がよい。	・業務効率化やペーパーレス化など運用面でも排出抑制を図る予定で、その旨を基本計画に記載します。
	・今後、施設の省エネルギー運用を担う部署の設置や省エネルギーの目標を設定しておいた方がよい。	・設計段階以降、運用段階で省エネが確実に実行できるよう担当部署の設置や目標設定を検討します。
景観・ デザイン	・中央区役所は、西側・長堀通りに対する顔作りも配慮が必要では。	・回遊性向上にとって重要な要素であることから、西側・長堀通り側の顔作りを行います。
	・屋上庭園や太陽光発電設備の設置については、熊本城の天守閣からどのように見えるかも含めた検討が必要では	・設計段階で熊本城からの眺望も含めて検討を行います。
全体	・機能や性能など、各々検討を進めているが、それぞれの項目が矛盾なくつながっているか横断的な視線での確認が必要では。	・今回、全体のゾーニングやフロア構成、機能などを横断的にイメージが出来る資料を提示します。
	・基本計画の段階で、各機能やセキュリティ、交流共創スペースの考え方などを平面イメージを示しておく必要がある。	
	・インクルーシブデザインやDX推進などは横断的な事項であり、総合的な話を示すべき。	・素案策定段階で、各機能に関連する共通項目は章立てを別にするなど構成の見直しを図ります。